

自然いっぱいの保育園 岩本保育園

【自分で考えながら夢中になってあそぶ子】

～きのうのつづき～



自然との関わり



保育園にある森では寒い日に氷が張ったり、霜柱ができたりします。氷を持っては「つめたい!」、霜柱を踏んでは「ザクザク音がする!」と冬の自然を楽しめます。また、園舎からすぐ近くの散歩コースは車の往来がなく、思い切り走り回ったり、タンポポの花やテントウムシを見つけるなど春探しができます。

落ち葉のプールも人気です。→

冬のあそび 行事との関わり



こんなところに
かくれてるよー!



寒い冬は体を温めるように相撲で遊ぶ子が多くいます。異年齢での勝負では大きい子が小さい子に手加減してくれる優しさも見られます。室内ではマフラー編みに夢中になり、「こんなに長くなった、もう少しだ」と頑張っています。

冬は行事も多く、七草がゆ作りや繭玉作り、節分の豆まきなど遊びの一環のように楽しみながら小さい子も参加しています。



「おには～そと～」と
丸めた新聞紙で
豆まきごっこ

食育



食事の様子を調理員が見に来て好き嫌いや食事量を把握し、日々の給食調理に生かしてくれます。年度末にもなると、0歳児も自分でスプーンを持って食事するようになります。年長児は七草がゆを自分たちで作ったり、年中児は年長児のためにクッキーを作ってプレゼントしたりと、クッキングを楽しんでいます。